

目指すべき将来像

みどりの風を感じる大都市・大阪

事業展開の狙い

- 地域住民等による緑化活動の支援に加えて、多くの府民や来阪者の目に触れるみどりを創出するため、平成28年度から、民間事業者が主体となって接道部に緑陰等の整備とともに周辺地域への緑化普及を呼びかける「実感できるみどりづくり事業」を実施。また、平成28年10月には、建築物敷地等緑化促進制度を改正・施行し、接道部への緑化を誘導しており、人の目に触れる接道部への高木植栽は増えつつある。
- しかしながら、本年の台風により多くの接道部の高木が被害を受け、民間施設での接道部への高木導入の意欲が減退することが懸念される。このため、既存の取組みに加えて、民間の意欲を高める取組みを速やかに展開するとともに、高木の整備・管理の適切な知識の技術を普及させることにより、多くの府民や来阪者の目に触れ、次世代に受け継がれる、接道部の高木植栽の一層の促進を目指す。

従来からの  
継続事業

みどりづくり推進事業

自治会やNPO等多様な主体が協働して取り組む、花壇づくりや幼稚園での植樹や芝生化などの緑化活動に対して助成。

助成

H30年度予算額  
4,000千円

地域緑化推進事業

自治会、住民グループなどの地域住民が共同で行う植樹活動に対して苗木を配布。

委託

H30年度予算額  
18,020千円

実感できるみどりづくり事業

民間事業者が中心となった街区単位等の面的・線的なみどりのまちづくりに対して経費の一部を助成。

- （助成対象）
- ・「実感・みどり事業者」が行なう接道部の緑陰等の整備及び緑化普及活動
  - ・沿道の一定区間で企業や地域住民が協働で策定する緑化プラン及びそれらに伴う緑化整備
  - ・地域の課題に対応するまちづくり協議会等が策定する緑化プラン及びそれらに伴う緑化整備

助成

H30年度予算額  
86,000千円



（仮称）良好な緑陰づくり支援事業

ねらい

- ・これまで民間施設の接道部への高木植栽について、整備・誘導に取り組んできたが、本年の台風被害等により民間事業者等の意欲が減退しつつあることから、高木苗木を配布することにより整備コストの負担を軽減するとともに、適切な高木整備・管理の知識・技術を普及させることで、民間事業者の接道部への高木植栽の意欲を喚起し、接道部の高木植栽の一層の促進を図る。

事業イメージ

1. 接道部の高木植栽に取り組もうとする民間事業者等に高木苗木（H=3m）を提供
2. 接道部の高木の整備・管理を適正に行うための知識や技術を取りまとめた「（仮称）良好な緑陰づくりガイドライン」を作成し、広く配布、活用を図る。

委託

新規

平成31年度  
新規事業

接道部での緑陰形成の意欲を高め、高木の整備・管理の知識や技術を普及させることで、多くの府民や来阪者の目に触れ、次世代に受け継がれるみどりを引き継いでいくことが可能となる。